

東邦大学学術リポジトリ

Toho University Academic Repository

タイトル	社会医学講座医療統計学分野
別タイトル	Introduction of Division of Medical Statistics, Department of Social Medicine, Toho University
作成者(著者)	村上,義孝
公開者	東邦大学医学会
発行日	2022.03.01
ISSN	00408670
掲載情報	東邦医学会雑誌. 69(1). p.62 63.
資料種別	学術雑誌論文
内容記述	教室(診療科)紹介
著者版フラグ	publisher
JaLCDOI	info:doi/10.14994/tohoigaku.2021 044
メタデータのURL	https://mylibrary.toho-u.ac.jp/webopac/TD75794324

教室(診療科)紹介(128)

社会医学講座医療統計学分野

社会医学講座医療統計学分野

教授：村上義孝
講師：竹内由則

講座の概要

社会医学講座医療統計学分野は、2014年4月に社会医学講座内に5番目の分野として誕生しました。初代教授として滋賀医科大学より村上義孝が着任しました。2015年5月

に大庭真梨が助教として着任、2人体制となりました。大庭氏が2021年5月に国立精神・神経医療研究センターに転出された後、2021年10月に東京大学大学院医学系研究科助教の竹内由則が講師として着任し、今に至っています。

教育

学部教育では、社会医学講座が担当する社会医学1の中の疫学・医療統計学(3年)、統合型社会医学実習(4年)、統合型社会医学演習(6年)を担当しています。また村上氏は全人的医療人教育3の研究倫理の講義・演習を担当しています。

大学院教育では大学院修士および博士課程の医療統計学および研究倫理の講義を担当しています。大学院生は現在、博士課程5名(3年生4名、1年生1名)が在籍しており、各自のテーマに対する研究指導を行っています。

当分野の教員は医学部内の臨床研究支援センターも併任しており、医学部・3病院における臨床研究に関する支援を行っています。主な支援業務として、研究に関する相談、統計解析における支援、倫理的事項のアドバイスを、企



教室員

業との契約など、臨床研究に関する多岐にわたるコンサルティング業務を展開しています。

研究

当分野では、疫学・医療統計学に関する研究を行っています。

村上は約12万人の地域・職域集団を対象とした循環器疫学統合研究であるEPOCH-JAPANの代表研究者をはじめ、いくつかの厚生労働省班研究に参加しています。その内容は健康寿命の算定、感染症発生動向調査を用いた警報発生・年間罹患数推計、大腸内視鏡における診断能など幅広い分野にわたっています。また学内外の臨床医学教室との共同研究も実施しており東邦大学では神経内科（大森）、消化器内科（大森）、循環器内科（大橋）などと多領域にわたっています。

竹内はレセプトデータや電子カルテデータなどの医療情報データベースを利用した、医薬品・ワクチンなどの安全

性評価を行う薬剤疫学研究を行っています。このような薬剤疫学研究における、欠測データや未測定交絡、治療・アウトカム定義の誤特定、時間依存性治療の取り扱いなどの統計解析上の課題の解決を目的として、統計的因果推論やセミパラメトリック推測などの観点に基づき研究デザイン・統計解析手法の新規提案・評価を行っています。

最後に

医療統計学は臨床研究にはなくてはならない存在になっております。その一方で「統計学は難しいし、敷居が高い」印象をもつ人はいまだに多いようです。このような状況に風穴を開けるために、教育・研究そして研究支援に日夜、励んでおります。明るい雰囲気のある教室をめざし情熱をもって頑張っておりますので、ご気楽にご相談などいただければ幸いです。

(村上義孝)

DOI : 10.14994/tohoigaku.2021-044